(一社)宮崎県サッカー協会

公　式　記　録

マッチコミッショナー	主　審
古川　淳	田中悠貴

大会名：平成29年度 第39回 九州高等学校（U－１７）サッカー大会（九州高等学校サッカー新人大会）　マッチNo.［23］

日時	2018年2月18日　11:30	試合形式	60分	会場	宮崎国際海浜エントランスプラザ		
天候	晴	気温	11.0 ℃	湿度	50.0 %	風	2m
ピッチ状態	観客数						
マッチコミッショナー	古川　淳	副審１	荒川　隼	第４の審判	萩原雅貴	人工芝	全面良芝
主審	田中悠貴	副審２	松本大地	記録担当	濱田悠暉	表面	乾燥
150 人							

日章学園高等学校	2	1	前半	0	0	那覇西高等学校
		1	後半	0		
			延長前半			
			延長後半			
Kick off			P K			Kick off

交代 No.	交代 out時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	シュート 計	得点	選手名	番号	位置	位置	番号	選手名	得点	シュート 計	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 out時間	交代 No.
								小原　司	1	GK	GK	1	新垣　凱斗								
					1	1		濱松　凜	2	DF	DF	2	比嘉　来揮								
				2		2		後藤　翔	4	DF	DF	3	仲程　飛雄								
								阿部　稜汰	5	DF	DF	4	大城　琉賀							61分	17
20	56分							小野　瞬亮	12	DF	DF	5	東舟道　尚吾								
				3		3		比嘉　将貴	6	MF	MF	7	宮城　海								
8	HT							石川　聖人	7	MF	MF	8	伊佐　航平							53分	15
9	56分							河原　淳	10	MF	MF	10	許田　楓太								
								小林　鉄生	14	MF	FW	9	高良　竜太朗							47分	14
19	HT							日高　友貴	18	MF	FW	11	宮国　永遠			1					
					2	2	1	鈴木　陽介	11	FW	FW	16	親里　陸							47分	19
								福山　智仁	17	GK	GK	12	大嶺　貴史								
								髙田　椋汰	3	DF	DF	17	上原　響輝								
								児玉　樹	13	DF	DF	18	仲西　正貴								
								田中　龍之介	20	DF	MF	6	金城　竜馬								
								長友　駿弥	8	MF	MF	13	下地　海人								
				1		1		梅野　達也	9	MF	MF	15	壽　龍之介								
								児玉　陸翔	19	MF	MF	19	小濱　拓斗								
								南　太陽	15	FW	FW	14	上原　綾斗								
								平原　正規	16	FW	FW	20	金城　立汰								

警告・退場 時間	区分	No.	氏名	理由	監督	監督	警告・退場 時間	区分	No.	氏名	理由
					早稲田　一男	平安山良太					

延後	延前	後半	前半	チーム合計		前半	後半	延前	延後
		6	3	9	シュート	1	1		
		2		2	GK	9	7	2	
		2	2	4	CK	1		1	
		7	9	16	直接FK	6	3	3	
		2	2	4	間接FK	1		1	
		(2)	2	(4)	(ｵﾌｻｲﾄﾞ)	(1)		1	
					PK				

得点時間	得点チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過記録例］：～ドリブル,→ゴロのパス,↑浮き球パス,×混戦,Sシュート,Hヘディング									
29分	日章学園	11	鈴木　陽介	1-0	右1	18	↑	中央1	11	HS				
53分	日章学園	6	比嘉　将貴	2-0	左1	5	↑	中央1	×	6	右足S			

PK戦の経過	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

［試合時間］ 前半　31：19［1：19］、後半　32：19［2：19］、合計　63：38［3：38］

【戦　評】　　【記入者：　大羽洋嘉

日章学園は4-2-3-1、那覇西は4-4-2でスタート。日章はボールポゼッションをするも縦パスが入らず効果的攻撃ができない。那覇西はGKを含んだビルドアップでゲームを組み立て、お互いに丁寧に繋ごうとする意識が見えるゲームに。前半終了間際にクロスを鈴木が頭で合わせ一点をリードして前半を終える。後半も日章が主導権を握りミドルレンジでポゼッションをするもシュートに至らずにいたが、53分CKからカウンターを比嘉が冷静に流し込みリードを広げた。その後も得点のアドバンテージをうまく使い、日章が2-0で勝利した。